

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)										
						A	B	C	D	E						
1 子育てしやすいまち																
1-1 経済面で出産をサポートするとともに出産・育児の不安を軽減する																
1-1-1 出産に対する経済 的支援	① 不育症治療費及び一 般不妊治療費助成	① ②-1 受診率の改善がされていない。毎年指摘しているにも関わらず100%に近い数字にならないのはなぜでしょうか。令和4年度の乳幼児健診未受診率が、約13%なのは、なぜでしょうか。	② 少子化対策として重要な支援策と考えます。今後も取組を強化頂きたいです。また、不育症治療のニーズを検証頂きたい。	③ 各種施策を展開しているにも関わらず、「育児に関する市民実感度」が低いのは、どう分析されているのか。改善する施策はあるか。	④ 本取り組みはとても大切な事だと思いますが、実施された方の数が想像よりも少なく感じました。これは、もともと望まれている方の分母が少ないのか、生駒市がこのような取組を行なっていることを周知できていないのかがデータからではよく分かりませんでした。	⑤ この施策の目的は「安心して出産できる」環境を整えることで、出産が促進されることだと思う。そのため本来のアウトカム評価は「支援がどれだけ出産につながったか」だと考えるが、その状況が見えづらい。その点からも「市民実感度」が下がってきていることが気がかりである。	① 数値を取得するタイミングの関係で、検証シート作成時には暫定値となりますことをご了承ください。なお、令和3年度の確定値は98.4%です。乳幼児健診受診の向上に向けて、未受診者への受診勧奨や状況の追跡を継続します。(健康課)	② おっしゃる通り、少子化対策の重要な支援策と私たちも考えています。ニーズに応えられるよう、毎年予算も増額して対応しているところです。不育症治療に関しては、必要な方に支援が行き渡るよう、医療機関にもご協力いただき、助成制度の活用について周知を行っています。望まれている方の分母が少ないと推測されますが、子どもを望む夫婦の希望を叶えるために必要な施策だと考えています。今後も医療機関のご協力のもと、周知を続けていきます。(健康課)	③ コロナ禍で育児支援の取組などが制限を受けた影響や、育児への関わり方の変化など、今後アンケート結果の詳細を分析し、改善に向けた取組等を検討します。(企画政策課・健康課)	④ 不育症治療および一般不妊治療費助成事業の周知については、医療機関にもご協力をいただいています。おっしゃる通り、もともと望まれている方の分母が少ないと推測されますが、子どもを望む夫婦の希望を叶えるために必要な施策だと考えています。今後も医療機関のご協力のもと、周知を続けていきます。(健康課)	⑤ 令和4年度実績 一般不妊治療費助成事業利用者のうち、妊娠成立率 30.5% (25件/82件) 不育症治療費助成事業利用者のうち、出生率 100% (6件/6件) 伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施も令和4年度から開始しており、子どもを望む夫婦への支援は充実していると考えます。(健康課)	1	1	5		
												1-1-2 産前産後ケアの充 実	① マタニティコンサル ジュの 配置	① 乳幼児健診受診率の改善は『母子モ』の効果によるものと思われます。引き続き取り組またい。受診率、実感度ともに実績値が伸びていない要因を検証すべきと思います。	② コロナ禍での活動において困難も多かったと思いますが、良い結果を出せたと思います。	③ 相談等の支援で不安の軽減は一定図られていると考える。しかし、相談にも来られない漠然とした不安を持っている方へは、相談ではない別のかたちの支援が必要だと思うので、施策の多様化をさらに検討して欲しい。 「新型コロナウイルス感染症の影響により、SNS等の偏った情報で不安になる産婦が多くなっている」との記載があるが、その根拠は何か。

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)					
						A	B	C	D	E	
		1-2 子育て世帯の時間のゆとりをつくる									
		1-2-1 就学前保育の機能 強化		① 保育所の整備	①相談会参加者のうち、新たに雇用された保育士数増加は本取組の成果と思われます。保育所入所児童数が伸びていないことから、ニーズを再調査してサービスの見直しを検討していくべきと考えます。 ②KPI④-①②③の目標値の設定に疑問あり。なぜ、高く設定する必要があるのかと思います。 ③人材確保が難しい時代ですが、さらに力を入れていただきたいです。 ④Q①保育士の確保や待機児童数など目標を達成しているが、多様な保育ニーズへの対応が効果を発揮していない。 ⑤Q①昨年度に比べ保育士の確保ができたのは、どのような工夫が効果を発揮したのか。 ⑥Q③リモートワーク等、自宅で子育てしながら働くことができる仕事の工夫も含めて、預かるだけでない育児サービスを検討して頂きたい。	①生駒駅周辺などの保育ニーズが高い地域では、保育士不足により、定員数を受け入れることができない園があります。次期「子ども・子育て支援事業計画」策定に係るアンケート調査により、ニーズを再度把握し、教育・保育の量の見込みに対する提供体制の確保に努めます。(幼保こども園課) ②実績値と第2期子ども・子育て支援事業計画を策定する際に実施したアンケート調査によるニーズをもとに、多様化する就学前保育・教育サービスのニーズに対応するため、各指標を設定しています。目標数値を達成することで一定ニーズに対応できたと評価する想定でしたが、ご指摘のとおり数値の高さが必ずしも取組の充実度と一致するわけではないことから、今後数値の精査等も検討したいと思います。(企画政策課・幼保こども園課) ③潜在保育士の発掘を目的とした「資格をいかそう！相談会」や、入所希望家庭の事情に合った相談業務を行う、保育コンシェルジュの出張相談会の機会を増やすなど、従来の取組を拡大し、待機児童解消に取り組みます。(幼保こども園課) ④ A①いずれもコロナ禍の影響によるもので、保育園の一時預かり・休日保育については、感染予防の観点から集団生活を控える保護者の判断があったり、園内での感染者発生や保育士(が濃厚接触者となり出勤できず人員の)不足により、それらの保育を実施できない状況が影響しました。また、病児病後児保育については、ご家庭での体調管理の徹底や、保護者の勤務先等で、こどもが熱を出した際には出勤できない対応が示されていたことから、利用者が減ったものです。(幼保こども園課) ⑤Q②相談会に来られた方の情報を整理し、勤務条件のマッチングを丁寧に行っている。コロナの状況の変化(恐怖心・対応の日常化)が大きな要因だと認識しています。(幼保こども園課) ⑥A③今後検討します。(幼保こども園課)	1	3	3		
② 保育士の確保											
③ 保育コンシェルジュの活用											
④ 就学前保育・教育サービスの充実											
		1-2-2 学童保育の機能強化	① 学童保育の充実	①まずまずの結果だと思いました。 ②民間学童保育所の利用が進まない原因は何か。	①引き続き取り組みを進めてまいります。(こども総務課) ②子どもの友人関係、子どもの移動の負担軽減、学校行事へのきめ細かな対応などが理由で、学校の施設内にある学童保育所の利用希望が高い状況です。 なお、申込実績は以下のとおりです。 R4年4月1日開所 定員40人 入所児童数13人(夏休み29人) R5年4月1日開所 定員70人 入所児童数(4月1日付け)4人(こども総務課)	2	4	1			

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)					
						A	B	C	D	E	
1-3 子育て世帯にとって魅力的な教育を行う											
	1-3-1 教育環境の充実		① ICTを活用した教育の 推進	① ①-A 全国学力状況調査の項目がなくなったから出さないでは目標達成がわかりにくい。ICT活用への意欲度を独自で調べることはできないのでしょうか。GIGAスクールを使えば全校で一斉にアンケートを取ることは可能ではないか。 ② 学校ごとに、取組に差があるのは是正していくべきと考えます。外国人講師を非常勤で採用する等を検討してはどうか。 ③ 英語教育の推進に見合うだけの教諭のレベルアップに取り組んでいく必要がある。	① R5年度は児童へのアンケートの中に同じような意欲度を測る項目を入れて調査をします。(教育指導課)						
			② 英語教育の推進	④ 不登校の児童・生徒の、割合はいくらか。その対策は何かされているか。特徴・特色ある教育活動とは、どのようなものですか。 ⑤ 時代の変革のスピードが速いので、行政側ももっと強いガバナンスを発揮して推し進めていかなければ、世界についていけない状況になっていくのが心配に感じます。	② もちろん市としても大きな課題とらえています。研修体制の在り方など進めているところです。外国人講師はすでにALTを雇用しています。(教育指導課) ③ 教員の採用や研修、異動は県の教育委員会によって行われています。市では小学校と中学校での連携について会議を開いています。(教育指導課)	1	1	5			
			③ 夢を与える講演会・学 校創造推進事業	⑥ 学習指導要領が大きく変わり、主体的に「生きる力」を育むことが柱となっている。施策はそれを実現するために有機的につながる必要があるが、個別の事業展開になってはいないだろうか。ICTの活用によって教え方も変化していくはずだが、その点も含めて今後の展開を考えて欲しい。英語の授業も個々の教員が教えるだけでなく、アプリやビデオの活用なども増やしていけるのではないか。	④ およそ2%~3%になります。R4年度には小学生を対象とした不登校児童の居場所として「のびのびほっとルーム」を開室しました。また、SCの配置を増やし児童生徒が相談しやすい体制を整えています。(教育指導課) ⑤ 市も時代のスピードにおいていかれないように学んでいきます。(教育指導課) ⑥ 本市では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両輪とした令和の日本型教育を進めているところであり、ご指摘のとおり、学習指導要領に定められている「生きる力」を育成するため、子どもたちの学びが確かなものとなるように共通の課題認識や目標を持って各取組を進めているところです。また、ICTの活用については、各教科において積極的に1人1台タブレットを活用した授業等を進めており、英語についても、デジタル教科書を全校に導入し、リスニング等を音声データで聞くことができるといったことにも使用しています。(教育指導課)						

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)					
						A	B	C	D	E	
1-4 コミュニティ形成等を通して子育て世帯の精神的なゆとりをつくる											
		1-4-1 子育て世帯を応援 する情報提供の推 進	① 子育て世帯向けの多様 な情報発信	①生駒市のLINEがコロナ関連のお知らせのみになっている。もったいないし、せっかく若い人への直接アプローチが可能なツールなのでしっかり活用して頂きたい。 ②良い成果を出せたと思います。 ③「子育て関連ページへのアクセス件数」が落ちている原因は何か。 ④課題には「新たなシステムの導入や場合によっては廃止の検討をす必要がある」とあるが、今年度の取組に対応する記述がないが…	①令和5年度に公式アカウントを改修し、さまざまな市政情報の配信やLINEを利用した新たなサービスを導入する予定です。(広報広聴課) ②引き続き取り組みを進めてまいります。(関係各課) ③子育て関連ページアクセス数低下の要因は、コロナ関連情報へのアクセス数が減少しているためです。なお、市全体のページビュー数、R1:600万、R2:1100万、R3:1500万、R4:1000万と、コロナの落ち着きに伴い、減少傾向です。(広報広聴課) ④各種SNSの増加に伴い、NOTE等、市で新たに活用しているものもあります。今後は職員の負担と効果、継続性等を考慮しつつ、取捨選択を検討する必要があります。(広報広聴課)	3	3	1			
		1-4-2 子育て世帯の交流 促進	① 子育て世帯同士の学 び・交流支援	① ①-A 満足度が下がった理由は ②コロナ終息後の動向を見て検証すべきと思います。 ③新型コロナウイルス感染症以外に問題はありますか。働き方改革との関係性は。 ④それぞれによって孤立化する原因が異なるので、別の違ったアプローチ方法を根本から見直していかなければ改善できなと感じました。 ⑤「ひろば事業参加者満足度」が低下している原因は何か。 ⑥対面だけではない新たな取り組みはないか。 ⑦市民グループが独自に行っている取組との協働はどうなっているか。	①アンケート結果としては「楽しかった(61)」「普通(9)」「楽しめなかった(0)」となっており、満足度として、全体のうち「楽しかった」と回答した割合で算出しています。「楽しかった」以外の回答の要因としては、事業内容の他に、他の参加者についての回答もあり、引き続き適正な参加者数を見極めながら、安心して参加いただけるようにした上で内容についても検討していきます。(子育て支援総合センター) ②コロナ禍においては、感染症の対応を実施しつつ、子育て世代への情報提供等を進めてまいりました。激変する社会情勢に対応しつつ、取組を進めてまいります。(子育て支援総合センター) ③今後も引き続きコロナ以外の感染症(ノロやインフルエンザなど)や衛生管理を行いながら、安心してご利用いただける場所づくりに努めてまいります。また働き方改革との兼ね合いでは、テレワークでの在宅勤務をされる保護者のかたもおられることから、引き続き地域での子育て支援について検討を行ってまいります。(子育て支援総合センター) ④孤立化や、それを含めた子育て世帯の問題・課題については、単一の方法のみで改善ができるようなものではないことから、引き続き地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業を行いながら改善に努めて参ります。(子育て支援総合センター) ⑤サンプル数は70です。当該ひろばについて「楽しかった(61)」「普通(9)」「楽しめなかった(0)」となっており、満足度を図るため、全体のうち「楽しかった」と回答した割合で算出しています。「楽しかった」以外の回答の要因としては、内容の他に、他の参加者についての回答もあり、引き続き適正な参加者数を見極めながら、安心して参加いただけるようにした上で内容についても検討します。(子育て支援総合センター) ⑥トリプルPという、グループワークを中心に子育てを楽しく前向きにしていく方法やアイデアを身につけていく講座において、講座の先生と電話相談ができる取組はありますが、子育て世代間の交流では対面以外の取り組みは難しいと考えます。(子育て支援総合センター) ⑦いこま育児ネットやかるがも会といった、子育て支援グループと協働しています。他にも各講座にボランティアとして市民に参加してもらおうなどしています。(子育て支援総合センター)	1	1	4	1		
		1-4-3 地域で子育てを見 守る体制の強化	① 地域・行政・周囲のひ とによる子育ての見守 り強化 ② ファミリー・サポート事 業の利用促進	①コロナ終息後の動向を見て検証すべきと思います。 ②この施策の目的は「多主体との連携の強化」だと思うが、その点の成果が見えない。	①コロナ禍においては、感染症の対応を実施しつつ、子育て世代への情報提供等を進めてまいりました。激変する社会情勢に対応しつつ、取組を進めてまいります。(子育て支援総合センター) ②ファミリー・サポート事業では、援助会員と依頼会員がおり、いずれも市民です。そういった面では、多主体と連携できており、依頼会員に援助会員になることを進めるなど、その連携の強化を図っています。こんにちは赤ちゃん訪問等による全戸訪問において、家庭の状況を把握し、必要に応じて要保護児童対策地域協議会(要対協)を活用し、連携を取っています。(子育て支援総合センター・健康課)	1	2	4			

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)					
						A	B	C	D	E	
1-5-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	1-5 子育て世帯が安心して生活できる地域をつくる										
	①	指定避難所への防災備蓄	① ①各指標は概ね順調な実績値となっており、定着が伺えます。引き続き住みやすい街を維持頂きたい。 ②さつき台、一分の開発等に関する行政の取り組み方はどうか。	①引き続き取り組みを進めてまいります。(防災安全課)							
	②	自主防災会の活動支援・促進	③ITツールの活用をお勧めします。 ④「各自主防災会が地域ごとの災害特性を認識し」とあるが、その根拠は何か。	② 本開発事業は都市計画法に規定される開発行為で、民間の開発事業者が同法の許可権者である奈良県知事の許可を受けて施行する開発事業です。市は生駒市宅地等開発行為に関する指導要綱に基づき、事業者に対して適切に対応しています。(建築課)	③ITツールの活用を進めてまいります。(防災安全課)						
	③	自主防犯活動の支援・促進	⑤「関係機関等が多岐にわたっているため、全員が一度で確認できるような連絡体制が構築できていない」という課題に対する解決策の記述がない。	④自主防災会の中には、訓練の実施に向けて、又は訓練後に地域ごとの災害特性をまとめた資料等を作成しているところもあります。(その資料は防災安全課で取りまとめていません。)(防災安全課)	⑤解決策は、今後検討していきます。(関係各課)	1	5	1			
④	通学路等安全対策										

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)				
						A	B	C	D	E
<b>2 働き盛り世代が希望の仕事ができるまち</b>										
<b>2-1 職場での多様な働き方を広げる</b>										
	2-1-1 働き方をめぐる環境 の変化に応じたワー ク・ライフ・バランスの 実現	① ワーク・ライフ・バランスの 普及啓発	①ワークライフバランスに積極的に取り組む企業に対して助成金を検討できないか。	①国（厚生労働省）に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組む中小企業事業主に助成金を支給する制度があるため、活用の検討を企業に対してPRしてまいります。補助金等の制度設計については、県も含めて今後の研究課題であると考えており、市としては男性の育児休業取得の促進に向け、普及啓発する事業を令和5年度以降に検討する予定です。（男女共同参画プラザ）	①国（厚生労働省）に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組む中小企業事業主に助成金を支給する制度があるため、活用の検討を企業に対してPRしてまいります。補助金等の制度設計については、県も含めて今後の研究課題であると考えており、市としては男性の育児休業取得の促進に向け、普及啓発する事業を令和5年度以降に検討する予定です。（男女共同参画プラザ）					
		② テレワーク等の推進	②ライフワークバランスとは何か？働くとはどのようなことか？など、企業から多くの意見を集め、方向性をしっかりと定めた上で取り組みをしていなければいけない。環境整備をただではダメだと感じました。	②事業者向けのセミナー等の開催などを通じて、意見を収集していきます。（男女共同参画プラザ）	②事業者向けのセミナー等の開催などを通じて、意見を収集していきます。（男女共同参画プラザ）					
		③ 女性の活躍推進	③厚生労働省の「えるぼし認定」の促進の取り組みは行っているか。	③厚生労働省の取組である「えるぼし認定」（女性活躍推進）の促進については行っていませんが、生駒市の産官学が連携して「イクボス宣言」をする事業所を増やす取り組みをしています。（男女共同参画プラザ）	③厚生労働省の取組である「えるぼし認定」（女性活躍推進）の促進については行っていませんが、生駒市の産官学が連携して「イクボス宣言」をする事業所を増やす取り組みをしています。（男女共同参画プラザ）	1	3	3		
		④ 就業意欲がある人の支 援	④「good cycle ikoma」に多様な働き方の事例が掲載されているが、市民の働き方に変化が出ているか。	④R4. 3月のアンケートでは、「good cycle ikoma」に掲載されている事例から、「住まいや暮らし方に影響があった」と回答する方が7割強となった（広報広聴課）と聞いています。男女共同参画プラザが行っている女性のキャリア形成セミナー等の受講者には、自らの働き方や生活を再確認して見直すなどの変化が見られたほか、受講後も継続的に交流し情報交換の場を持つ行動を起された方もいます。（男女共同参画プラザ）	④R4. 3月のアンケートでは、「good cycle ikoma」に掲載されている事例から、「住まいや暮らし方に影響があった」と回答する方が7割強となった（広報広聴課）と聞いています。男女共同参画プラザが行っている女性のキャリア形成セミナー等の受講者には、自らの働き方や生活を再確認して見直すなどの変化が見られたほか、受講後も継続的に交流し情報交換の場を持つ行動を起された方もいます。（男女共同参画プラザ）					
<b>2-2 家族の近くで希望する仕事に就ける環境をつくる</b>										
	2-2-1 産業の活性化	① 企業立地の推進	①企業立地件数、新規雇用者数が増加傾向にあり、取組の成果見られる。インフラ等の基盤整備が進めば更なる効果が見られるものと考えます。 ② ①-B 立地企業の新規雇用者数(人)の把握及び市内の立地企業の状況把握(決算書等)はどのようにされているのか。 ③我々、生駒で会社を営んでいるものからすれば、生駒は起業には向いていない。奈良県全域で活動するならば奈良市の方がリソースが多いですし、もっと大きなマーケットを視野に入れる方なら隣接した大阪や京都、最近ではリモート経営が可能なので、生駒である意味が薄れて来ていると感じます。ともすれば、もっと尖った施策が必要だと思います。	①引き続き取組を進めてまいります。（商工観光課） ②計画申請認定時に確認しております。（商工観光課） ③本市は、地域に根差したローカルビジネスの創業(第2創業含む)を目指す方を対象にした支援しております。その理由は、地域経済循環率が隣接市町村と比較し低く、消費や投資が市外に流出しまっている実態があるためです。一方で、創業比率は全国平均や県平均より高く本市内での創業意欲は高い状況にあります。市内で生み出した価値を市内の事業者が受け皿となり循環できるよう、ローカルビジネスの創業(第2創業を含む)を今後も進め、市外からでも足を運びたいような魅力あるお店づくりや、個性のあるサービスや商品を提供できる事業者を増やしていきたいと考えております。（商工観光課）	①引き続き取組を進めてまいります。（商工観光課） ②計画申請認定時に確認しております。（商工観光課） ③本市は、地域に根差したローカルビジネスの創業(第2創業含む)を目指す方を対象にした支援しております。その理由は、地域経済循環率が隣接市町村と比較し低く、消費や投資が市外に流出しまっている実態があるためです。一方で、創業比率は全国平均や県平均より高く本市内での創業意欲は高い状況にあります。市内で生み出した価値を市内の事業者が受け皿となり循環できるよう、ローカルビジネスの創業(第2創業を含む)を今後も進め、市外からでも足を運びたいような魅力あるお店づくりや、個性のあるサービスや商品を提供できる事業者を増やしていきたいと考えております。（商工観光課）	1	3	3		
		② 既存企業への支援	④企業誘致が順調に伸びていることはいいことだと思う。既存企業のなかで廃業等の負の側面は増えていないか。	④廃業については、廃業届を提出されずに廃業若しくは休業されておられる場合もあり、把握することが非常に難しい状況がありますが、市としては廃業につながらないように既存事業者への支援等についても取り組んでいきたいと考えています。（商工観光課）	④廃業については、廃業届を提出されずに廃業若しくは休業されておられる場合もあり、把握することが非常に難しい状況がありますが、市としては廃業につながらないように既存事業者への支援等についても取り組んでいきたいと考えています。（商工観光課）					

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)				
						A	B	C	D	E
		2-2-2 起業支援	<p>① 起業希望者・起業希望者のマッチング及び起業マインドの醸成</p> <p>② 起業者を育成支援する体制づくり及び情報発信</p>	<p>① 市内在住で、一線を退いたプロ人材の派遣を検討してはどうか。</p> <p>② 起業希望者にとって、起業場所が何故生駒市でなければならないのか、そのメリットを意識した支援制度の充実を図って頂きたい。地域課題の解決は新たなビジネス機会の創出に繋がる。公民連携事業の推進を通じて、地域課題解決を民に委ねる仕掛けづくりを推進してほしい。</p> <p>③ いこまっこチャレンジ教室の開催状況はどうか。奈良県発明協会等との連携はあるか。</p> <p>④ 起業塾等の支援によって起業までいくことがアウトカム評価であるが、その点はどう分析しているか。また、起業までいけないハードルは何か。</p>	<p>① 本年度から開始する創業支援セミナー(ILBH)では、受講だけでなく創業者の伴走支援の役割を担うクリエイターも募集しており、クリエイティブな専門性をもつ市民が応募すれば伴走支援に参加できるようになっています。また、本市のコワーキング施設であるイコマドは、法的な相談を始めとする専門的な相談ができるようになっています。(商工観光課)</p> <p>② 産学官公民金と連携して、市内事業者にとって操業しやすい環境づくりを取り組んでおります。この活動をエコミックガーデニング(EG)と呼んでいます。EGは事業者同士のつながりを重視しており、コロナ禍で難しかった点がありましたが、今後は民間事業者や支援機関同士での課題解決を進めていくような仕掛けをつくることを検討しております。(商工観光課)</p> <p>③ いこまっこチャレンジ教室は小学生を対象とした体験型学習の場で、年間2～3回開催しています。令和元年度には「生き抜く力」をテーマに「マネースクール」の講座を実施しましたが、ここ数年は、プログラミングやロボットなどをテーマに開催しています。なお、主に奈良高専との連携により開催しており、奈良県発明協会との連携の例はございません。(生涯学習課)</p> <p>④ 起業支援の取組については、やはり取組の性質上、アウトカム評価として起業数を挙げるのが適切ではないかと考えています。セミナー等に参加したものの、起業に至らなかった要因としては、本市の特性として、起業というものの生活関連サービスの個人事業が多く、また住宅都市で商業エリアが少なく、事業を行う場所が少ないこと、昼間人口が少ないといったことから、起業にまで至っていないのではないかと分析をしています。(商工観光課)</p>	1	4	2		
2-3 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる										
		2-3-1 子育て分野における就労の促進	① 保育士の確保【再掲】	<p>① 保育士を集める他市町村の事例を参考にしてみてもどうか。</p> <p>② 社会課題でもあって難易度は高いと思います。</p> <p>③ 保育士の確保につながっており、一定の効果が出ている。「保育士業務の軽減」のためには、業務の棚卸しが必要ではないか。</p>	<p>① 好事例があれば参考にさせていただきます。(幼保こども園課)</p> <p>② 生駒市は大阪に近いなど、地理的な条件もございますので、引き続き取り組みを進めてまいります。(幼保こども園課)</p> <p>③ ご指摘の通り。無資格者でも担える業務とのすみ分けを進めています。(幼保こども園課)</p>	1	1	5		
		2-3-2 介護分野における就労の促進	① 介護関係資格取得費の支援	<p>① 社会課題でもあって難易度は高いと思います。</p> <p>② 支援が就労につながらない原因は何か。</p>	<p>① 保育等と同様に、生駒市は大阪に近いなど、地理的な条件もございますので、引き続き取り組みを進めてまいります。(介護保険課)</p> <p>② 地理的な条件から、大都市で就労する方が多くいます。また、労働環境や賃金などで負のイメージが先行していることが考えられ、市としてその払拭にも努めています。また、資格取得費の支援のほか、介護に関する入門的研修を実施していますが、家族介護をも想定した研修内容であり、即就労につながらない内容も含むものの、介護に関わるきっかけを提供し、出来る限りマッチングにつながるよう努めています。(介護保険課)</p>	1	2	4		
		2-3-3 食に関する地域産業の創出	<p>① プロ農業者の確保と育成</p> <p>② 農作物の販売支援</p>	<p>① 農機具の共同利用や貸出を検討してはどうか。</p> <p>② 国道163号線「道の駅」整備に向けた取り組み及び奈良中町「道の駅」等への出荷案内は。</p> <p>③ 私どもも、奈良県と協働で「奈良フードフェスティバル シェフェスタ」の事務局を14年やってきましたが、すぐに結果が出せませんでした。やり方を模索している間に大きな成果を生み出すことができましたので、取り組み方のコツのようなものが掴めれば必ず結果は出せすし、最近では地元ブランドの成果物を求めるユーザーがどんどん増加しています。</p> <p>④ 一定の成果はみられるが、伸び悩んでいる印象がある。</p>	<p>① 農機具の共同利用を検討したことがあるが、コストと修理の手間がかかり、現地への農機具の搬入方法、使用時期が重なる等問題が多いため、検討を要する。(農林課)</p> <p>② 基本的に道の駅と併設されている農産物の直売所については、農産物を出品できる対象者が限定されると考えられる。また、最近できた白庭台の直売所でも市内出荷者が4～5名しかおらず、毎日、安定した量の農産物を出荷できる農家は市内に数名程度しかいないと考えられる。(農林課)</p> <p>③ 出荷量が少ない農家が多いため、大規模なフェス等は難しいと考えられる。農家と飲食店を直接、繋ぐ「いこまレストラン」の開催を定期的で開催し、地産地消、地元ブランドの飲食店を展開できるよう努めている。(農林課)</p> <p>④ プロ農家として農業を行うには、まとまった一定規模以上の農地が必要です。しかし、生駒市内には、そのような農地が少なく、新規就農者が増えない要因と考えています。そして、新規就農者が増えないため、販売農家も増えない状況です。(農林課)</p>	1	4	2		

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)				
						A	B	C	D	E
<b>3 働き盛り世代が住みたいまち</b>										
3-1 働き盛り世代が移り住みたいまちをつくる										
3-1-1 まちの魅力発信や 観光・交流の促進 による交流人口の 拡大	①	いこまの魅力創造事業	①大阪・関西万博及び大阪市営地下鉄中央線をいかした事業の検討はどうか。インバウンド（中国・韓国等）の旅行者に向けた取り組みはあるか。	①大阪・関西万博が開催される令和7年度に経済効果を最大化できるよう、観光プロモーション事業において必要なプロモーションを実施します。（商工観光課）	①大阪・関西万博が開催される令和7年度に経済効果を最大化できるよう、観光プロモーション事業において必要なプロモーションを実施します。（商工観光課）	1	3	3		
			②コロナもあって地元を見直す人が増えているので、いいチャンスがまだまだ転がっているように思います。							
3-1-2 多様な住まい方・ 暮らし方の推進による 流入人口の促進	②	観光・交流の促進	③「good cycle ikoma」等のユニークな取り組みは評価できるが、その効果がどのように出ているのか、見える化が必要。 「ポータルサイトやSNSを検索する層を増加させる方法と、SNSのアルゴリズムの変更に对应してリーチ数を保つことが情報発信の課題」とあるが、これに対する今年度の取り組みは何か。	③「グッドサイクルいこま」のサイトについて、令和元年は月間7,000PV程度であったが、令和4年は月間15,900PVへと増加し、情報接触件数は順調に伸びています。また、サイトの効果検証アンケートでは、サイトを見たことのある層は、見たことのない層と比べて生駒市の推奨度が高く、自身の住まいや暮らし方へ影響を受けた人も多いという結果が出ています。リーチ数を保つ取組として、SEO対策、ウェブ広告、SNSとの連携等を継続して進めます。（広報広聴課）	③「グッドサイクルいこま」のサイトについて、令和元年は月間7,000PV程度であったが、令和4年は月間15,900PVへと増加し、情報接触件数は順調に伸びています。また、サイトの効果検証アンケートでは、サイトを見たことのある層は、見たことのない層と比べて生駒市の推奨度が高く、自身の住まいや暮らし方へ影響を受けた人も多いという結果が出ています。リーチ数を保つ取組として、SEO対策、ウェブ広告、SNSとの連携等を継続して進めます。（広報広聴課）	1	5	1		
			④コロナ禍が収まって、観光客が増加する見込みはあるか。	④国の統計を見ると、全国的にも徐々にインバウンドを含む旅行者数が増加傾向にあり、本市においても、今後コロナ前の水準に戻ってくることを予測しています。（観光振興室）						
3-1-2 多様な住まい方・ 暮らし方の推進による 流入人口の促進	①	空き家の流通促進と住宅のリノベーションの推進	①令和5年度の取組予定(A)及び課題(C)に書かれているように移住支援金のあり方及び雇用主(会社等)に対する補助金等、県・労働局等とも相談の上、「脱ベットタウン」働きやすい地域づくりへのなお一層の支援強化に取り組またい。	①引き続き連携の上、取り組んでまいります。（商工観光課）	①引き続き連携の上、取り組んでまいります。（商工観光課）	1	5	1		
			②生駒はもともと「住む」という視点からはブランドイメージも高くニーズがあるので、予算が増やせるなら重点的に取り組んでいけば必ず成果に結びついていくと思います。ただ、昨今、全国の各市町村がこの取り組みに力を入れているように感じます。奈良県内でもブランドイメージと県外からの知名度は大きな乖離があると思いますので、尖った戦略が必要だと思います。	②市内外へのまちの魅力発信について、ポータルサイト「good cycle ikoma」を核に、市内で多様な暮らし方・住まい方をしている人のインタビュー記事や、複合型コミュニティの体験レポート等を発信し、生駒市で暮らすことの魅力を継続してPRします。また、多様な住まい方・暮らし方の発信についても、空き家の有効利活用に向けて、所有者と希望者相応への支援を実施し、リノベーションや住宅の選び方などの情報をgood cycle ikomaで発信するなど、市内外に情報を発信するなど、ブランドイメージの向上に向けて、取組を進めます。（企画政策課）						
			③定住者につながるなど一定の成果が出ている。複数の支援を組み合わせることによる成果は見えているか。	③把握している範囲ですが、市の事業やイベントに参加した人が生駒市に興味を持ち、空き家等への移住につながった例が出てきています。（起業支援事業など）（住宅政策室）						

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本 目標	基本的 方向	施策	具体的な取組	施策の効果についての意見・質問	回答	評価 (プルダウンで選択してください)				
						A	B	C	D	E
3-2	働き盛り世代を中心に幅広い世代が住み続けたいまちをつくる	3-2-1 多様な主体との協創による都市プラン D形成	① いこまの魅力創造事業	①非常に頑張っておられ、効果も出ていると思うが、市民や事業所関係者に「見えにくい」と思う。広報は、大事だと思う。デジタル推進課・SDGs推進課の活動が、直接「わからない」市民や事業者が多いと思う。	①これまでも、オープンデータポータルサイトの運用や、オープンデータに関する周知促進事業等を行ってきましたが、より効果的な「広報」の方法を検討するとともに、市民・事業者との対話を通じ解決策等を探って参りたいと考えます。(デジタル推進課) 「協創対話窓口」への提案件数や連携実績も増えてきていることから、事業者に浸透してきていると考えますが、今後は「note」の活用や協創対話レポート作成による連携事業のさらなる見える化や、市の公民連携の基本的な考え方や戦略を記した指針策定により、より積極的に周知を図っていきます。(SDGs推進課)					
			② 地域特性に応じたまちづくり(ミライ会議)	②PRや発信していくには多くのデータをまずは集めることが大切だと思います。世代によっても自分の街に対する理想像も異なりますので、ビックデータを保有し、それを分析し、各ニーズに合った情報を配信していくことをお勧めします。 ③ユニークな取り組みの成果が見えてこない。とくに「生駒市に住んでいることに誇りを持っている人」が減少している点は今後の課題である。市民活動が活発になっていることが魅力向上にどのようにつながるかが見えずらい。 ④ミライ会議の伴走支援はどこまで必要か？	②ご指摘の通り、目的を明確にしてデータを収集・保有し、適切に活用することが重要であると考えます。引き続き、どのようなデータをどのように収集するかを含めて、検討して参ります。(デジタル推進課) ③現状、市民活動は活発に行われているが、発信の面で弱さが見られます。また、庁内の各課が関わっているが、それぞれ個別の動きであり、連携面で弱い状況です。今後は庁内の連携を一層強化し、各団体や取り組みがにつながるようなプラットフォームの運営を進めます。(関係各課) ④地域主体のまちづくりは、初動期は運営方法や周知方法等の支援が必要ですが、自走後は困ったときの相談窓口のような役割になると考えています。ミライ会議は、既に自走しています。(住宅政策室)	1	4	2		
			③ ICTや民間活力を活かしたまちづくり	⑤ICTを業務に活かすことでEBPMに繋がるはずだが、その成果はどうか。(今回の評価でもevidenceが明確でないことが多い)	⑤従来は、各課が保有している情報の共有がなされておらず、都度必要な状況を担当課に問い合わせで入手していた。令和4年度末に庁内データの共有ポータルサイトを作成し、情報を容易に取得できる環境の整備を進めている。(企画政策課)					
		3-2-2 協働イベントの開催による楽しく活力のあるまちの創出	① イコマニア・イベントの実施	①「生駒」という範囲で物事を捉えるのではなく、奈良県における生駒の立ち位置、または近畿圏における生駒、さらには全国における生駒、のように、いま、日本人がどのようなライフスタイルを求めて生き、働き、暮らしているかに上手く合わせた戦略で取り組みを強化されると成果に結びつくのではないかと考えます。 ②「市民参加が盛んなまち」というイメージを持つ人」が増加しないのは、成果の評価としては致命的だと思う。	①おっしゃる通り、生駒にとどまらず広域での考え方が重要であると考えます。先進地の事例等も収集しつつ、生駒の特性を活かした政策等、取組を進めてまいります。(企画政策課・地域コミュニティ推進課) ②各イベントは実施されているが発信面で弱さがあるので、庁内での連携も進めて強化していく。また、アンケート結果については、今後、年代等のクロス分析を実施し、傾向を確認します。(企画政策課)	2	1	4		
		3-2-3 文化芸術活動やスポーツ活動への参画機会の創出によるまちへの愛着やシビックプライドの醸成	① 文化芸術活動・地域スポーツへの参画機会の創出	①「生駒」という範囲で物事を捉えるのではなく、奈良県における生駒の立ち位置、または近畿圏における生駒、さらには全国における生駒、のように、いま、日本人がどのようなライフスタイルを求めて生き、働き、暮らしているかに上手く合わせた戦略で取り組みを強化されると成果に結びつくのではないかと考えます。 ②施策の目的は「文化芸術活動やスポーツ活動への参画機会の創出によるまちへの愛着やシビックプライドの醸成」である。「まちへの愛着やシビックプライドの醸成」が育まれているかどうかの評価をどのように見える化していくのか、検討が必要。	①おっしゃる通り、生駒にとどまらず広域での考え方が重要であると考えます。先進地の事例等も収集しつつ、生駒の特性を活かした政策等、取組を進めてまいります。(企画政策課・生涯学習課・スポーツ振興課) ②まちへの愛着やシビックプライドの醸成については、本分野だけでなく他分野においても課題であると考えます。アンケート等による把握やその他の方法での把握など、今後検討します。(企画政策課)	2	1	4		